

かんきょう  
**環境をともに守る①** (教科書 236~245 ページ) **解答**

氏名 ( )

①教科書 236・237 ページの資料ア～オや「北九州市に昔から住んでいる人の話」を見て、1960年ごろと2015年ごろの北九州市の様子を比べましょう。

1960年ごろの様子

- ・ たくさんのえんとつから赤いけむりが出ている。
- ・ 海が黄色くにごっている。
- ・ 海面にあわが立ち、海のおいがかくさくなった。
- ・ 工場から出るけむりだらけで、青空が見えなかった。
- ・ 洗濯物も外にほせず、まどをしめていても家や学校の中が黒くよごれた。

など

2015年ごろの様子

- ・ 工場はあるが、空も海もきれい。
- ・ 環境庁から「星空の街」に選ばれるほど、空がきれいになった。
- ・ 海にたくさんの魚がもどってきた。

など

②北九州市では、環境を改善するためにどんな取り組みが行われてきましたか。「住民」「市」「工場」それぞれの取り組みを書きましょう。(教科書 238・239 ページ)

**住民の取り組み**

- ・ 白い布をほしてよごれ具合を観察したり、水を張ったバケツを外に出せばいじんの量を記録したりして、公害の被害を調べた。
- ・ 公害について調べた結果を市民に発表したり、公害をなくすよう市長にうったえたりした。
- ・ 工場の人たちと、公害をなくすための話し合いをした。

**市の取り組み**

- ・ 工場との間で、公害を防ぐための取り決めを結んだ。
- ・ 公害防止条例をつくり、住民の健康を守ることに努めた。
- ・ 空気のよごれを観測する施設をつくった。
- ・ 国や工場と協力して、海のおよごれを取りのぞく作業をした。
- ・ 下水道を整備した。

**工場の取り組み**

- ・ ばいじんや有害な廃水を出さない機械や施設を設けた。
- ・ 市との取り決めや条例を守り、公害を発生させない生産をめざした。

## 環境をともに守る② (教科書 236~245 ページ) 解答

氏名( )

①二度と公害を起こさないために、北九州市はどのような取り組みをしているでしょうか。(教科書 240・241 ページ)

### 【公害防止の取り組み】

- ・空気や水質のよごれの観測を続けている。
- ・環境ミュージアムなどで、公害の歴史を伝える取り組みを続けている。

### 【国際協力の取り組み】

研修などで公害を乗り越えた体験と技術を外国の人たちに伝え、世界全体の環境保全に役立てる。

### 【持続可能な社会をめざした取り組み】

- ・使用済みになった工業製品をリサイクルする「北九州エコタウン事業」を進めて、ごみをできるだけ出さないようにしている。
- ・「次世代エネルギーパーク」をつくり、環境にやさしい発電方法の研究を進めている。
- ・使い終わった食用油をバスやごみ収集車の燃料として活用する取り組みを行っている。

②北九州市に暮らし人たちは、身のまわりの環境を守るために、どのような取り組みをしているでしょうか。(教科書 242 ページ)

- ・木を植えて緑を増やす。
- ・川や海のごみを拾う。
- ・ほたるがすめる環境を保つために、川辺の整備やほたるの育成を行っている。
- ・市民や学校、会社などが環境保全の取り組みをしようかいし合うイベントを開いている。

③わたしたちは自然環境とどのように関わっていけばよいでしょうか。(教科書 243 ページ)

(例) 便利で快適なくらしを求めて、自然をふみにじったり、自然のしくみをゆがめたりすると、人間と自然の結びつきがそこなわれる。次の世代の生命や安全を守っていくために、わたしたち人間が自然の一部だという意識をもち、毎日のくらしや産業を見つめ直していくことが大切だ。

④わたしたちが環境をともに守るために大切なことと、その理由を、自分で考えて書きましょう。

自分の考えを書きましょう